

## 鳥海山の火山活動解説資料（平成28年5月）

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

- ・ 噴気など表面現象の状況（図1、図2）  
上郷に設置している遠望カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。
- ・ 地震や微動の発生状況（図3）  
火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。
- ・ 地殻変動の状況（図4、図6）  
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

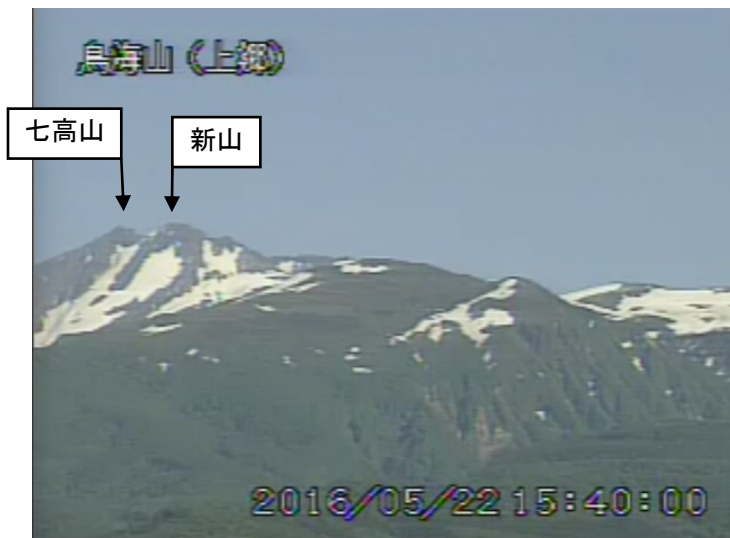


図1 鳥海山 山頂周辺の状況（5月22日）  
上郷（山頂の北西約10km）に設置している遠望カメラの映像です。



図2 鳥海山 新山と七高山位置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成28年6月分）は平成28年7月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

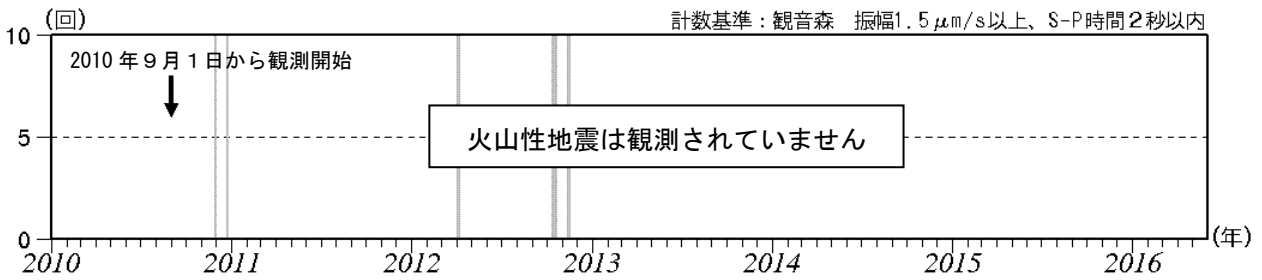


図3 鳥海山 火山性地震の日別回数（2010年9月～2016年5月）

- ・ 灰色部分は欠測を表しています。
- ・ 観測開始以来、火山性地震は観測されていません。

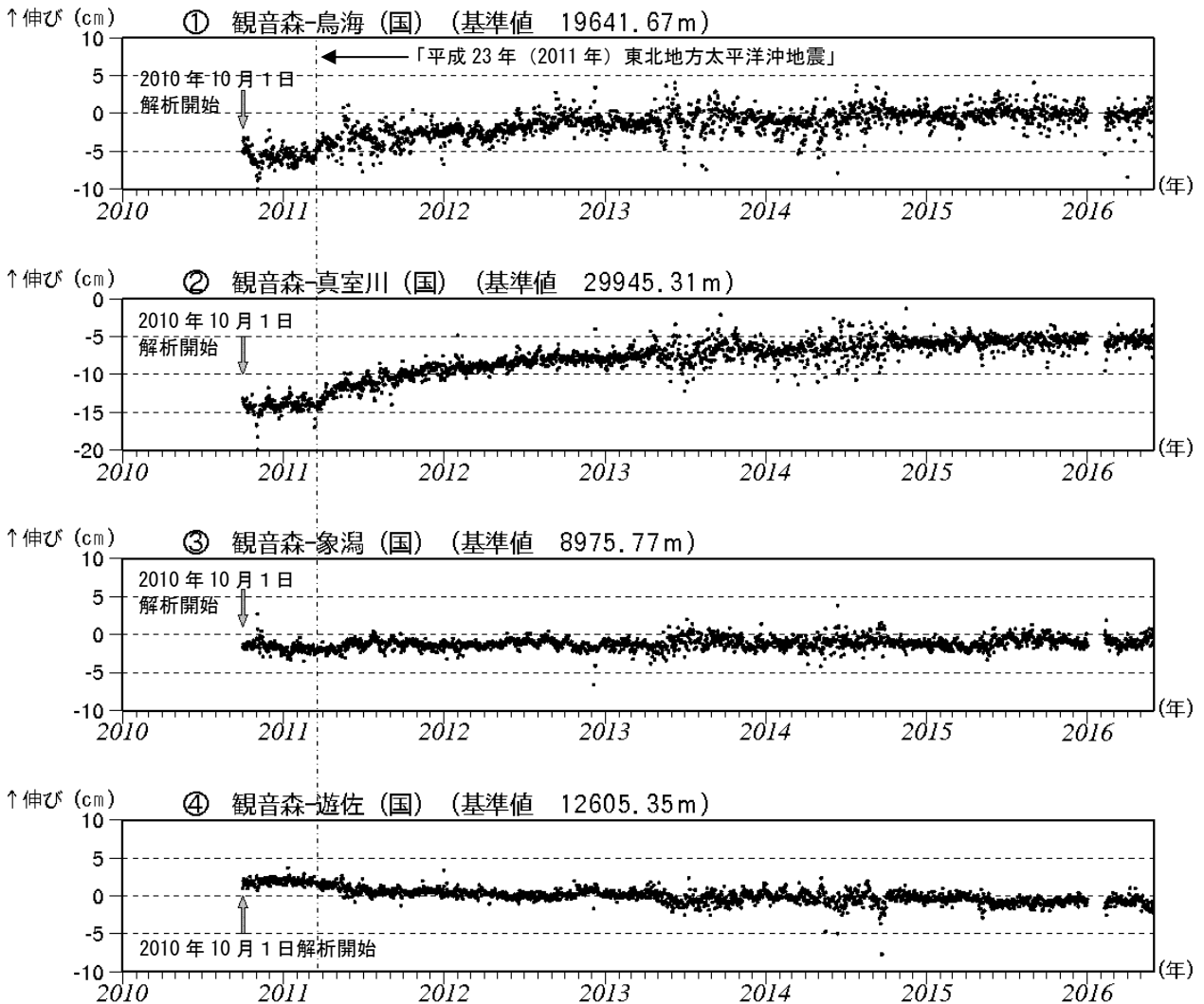


図4 鳥海山 GNSS<sup>1)</sup> 基線長変化図（2010年10月～2016年5月）

- 1) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。
- ・ 「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
  - ・ 「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余効変動による影響は小さくなってきています。
  - ・ ①～④は図6のGNSS基線①～④に対応しています。
  - ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
  - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
  - ・ (国) は国土地理院の観測点を示します。

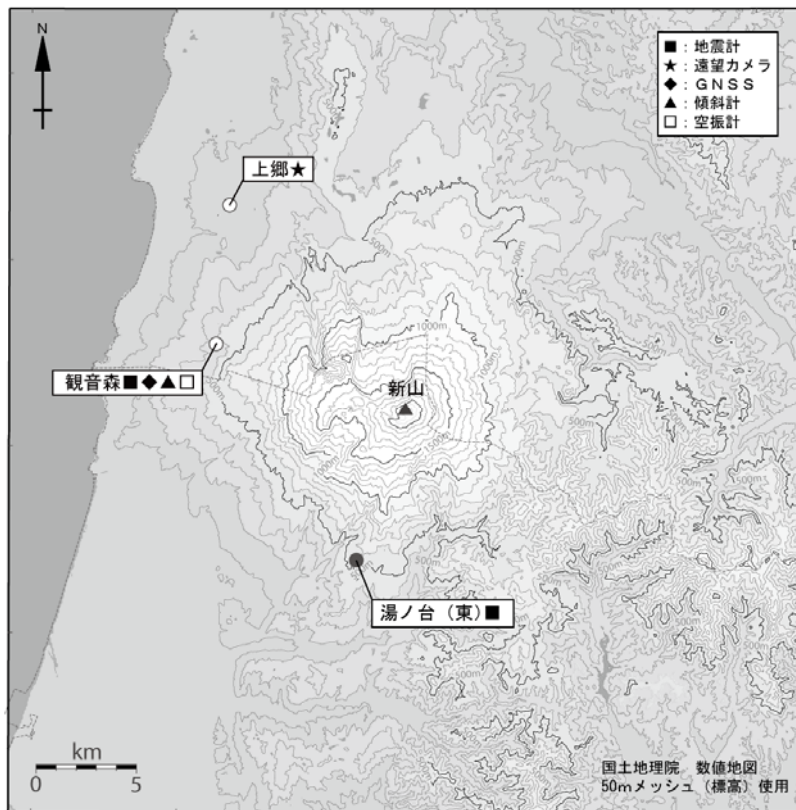


図5 鳥海山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学

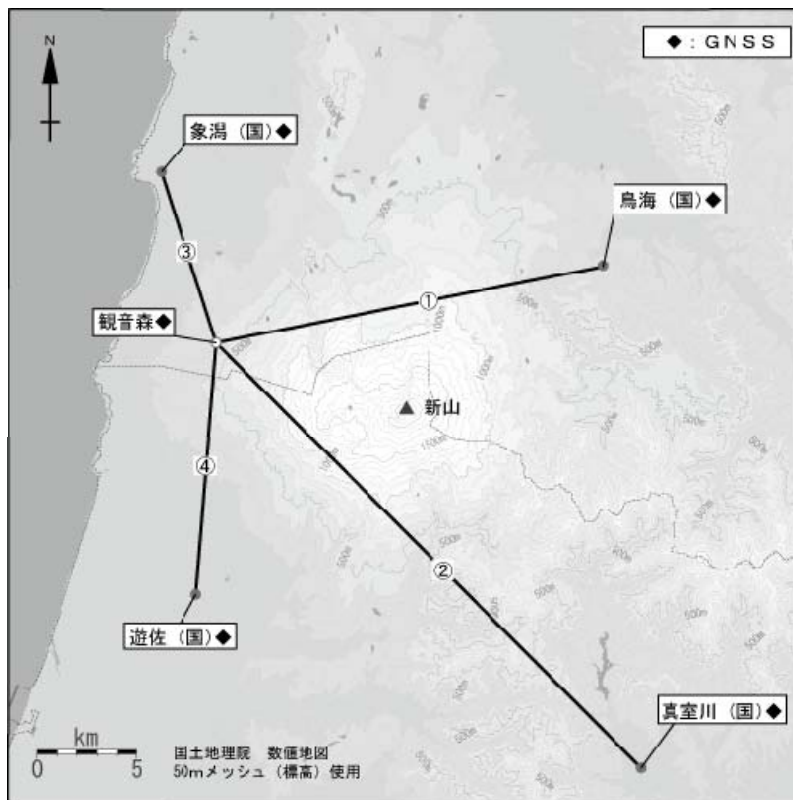


図6 鳥海山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院